

保護者様、地域の皆様

大田区立中萩中小学校

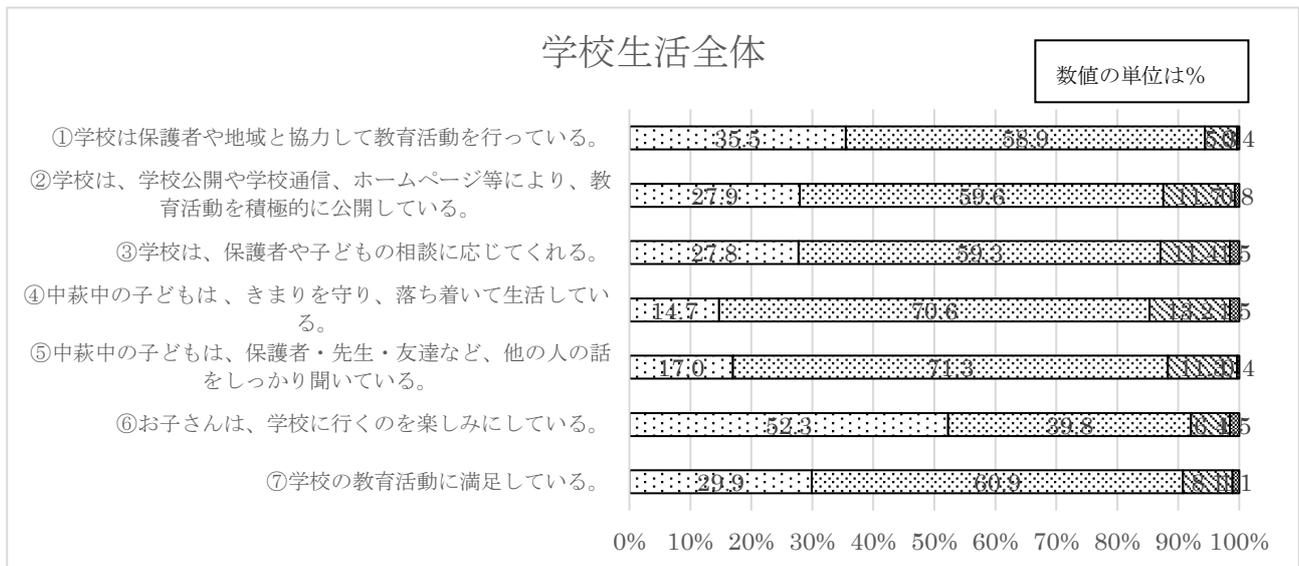
校長 鈴木 伸作

学校評価アンケート結果

保護者・地域の皆様には、日頃より本校への教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、ご多用の中、12月に行いました「教育に関するアンケート」の集計結果をお知らせいたします。

本年度は313名の方(提出率79.4%)に提出をしていただきました。貴重なご意見等もいただきました。今後、よりよい教育活動の実現のために、皆様のご意見を参考にさせていただき、努力してまいります。



そう思う

 だいたいそう思う

 あまりそう思わない

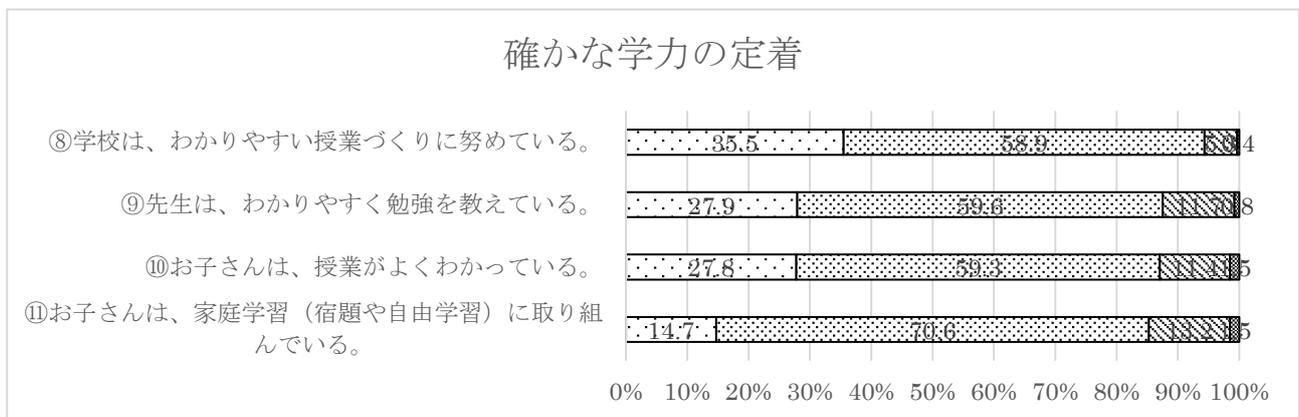
 思わない
 分からない

<学校生活全体>

- ①の設問は開かれた学校作りを意識した質問です。肯定的な回答(そう思う、だいたいそう思う)は9割を超えました。本年度も、学校のボランティアの方、地域の方々と一緒に教育活動することが制限される中ではありましたが、献身的に学校に関わってくださった方に対しては心より感謝申し上げます。
- ②学校からの情報提供は、ホームページのほか、緊急メールシステムも活用しました。しかし、保護者の方のアンケートでは「もう少し分かりやすい表現にしてほしい」「情報が足りないことがある」というご意見もいただきました。発信する情報の内容をさらに吟味し、分かりやすい情報提供を目指してまいります。
- ③学校の相談活動ですが、昨年度と比べると「そう思う」が+3.8%と上がりましたが、肯定的な回答(「そう思う」と「だいたいそう思う」を合わせた回答)が-3%と下がりました。本校では保護者の方からの相談については、内容によって保護者の方に許可を得たうえで学年主任、生活指導主任、養護教諭や管理職、さらにスクールカウンセラーと協議をして対応しております。何か学校やお子様のことについてご相談がある場合は、まずは電話で構いませんのでお聞かせいただければ幸いです。
- ④落ち着いて学校生活を送ることができているかについての回答は、昨年と比べると「そう思う」が+3.7%、「だいたいそう思う」が+6.8%で全体的に肯定的な回答が若干増え85%を超えました。きまりの遵守に関しての肯定的な回答は徐々に増えてきました。子どもたちの学校生活に必要な学校のき

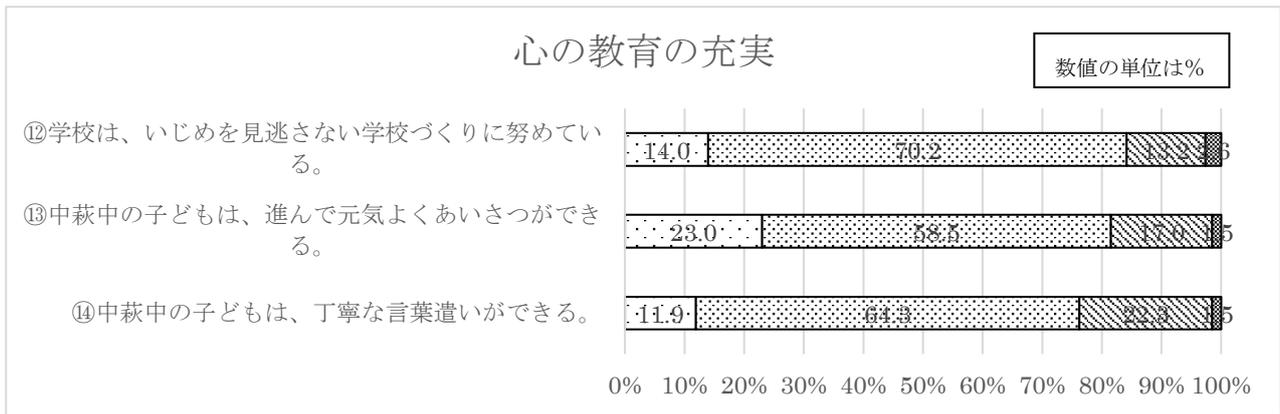
まりを見直し、しっかりと守らせ、落ち着いて学習できる場づくりを進めてまいります。

- ⑤「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせた肯定的な回答は昨年度とほぼ同様でした。その中で「そう思う」は昨年よりも7%増えました。学習でも日常生活でも「聞く」ことはとても大切で、内容理解だけではなく、相手意識も向上します。「そう思う」という回答がさらに増えるよう、相手を大切にすることを育み、聞く姿勢や態度を身に付けられるようにしていきます。
- ⑥「学校を楽しみにしている」は、昨年とほぼ同様、肯定的な回答が92.1%でした。コロナ禍で教育活動の制限がある中、友達と思いきり活動できる場面が限られたりしていることも原因かもしれません。また、学級での人間関係や心地よい学級づくりも欠かせません。子どもたちが活躍できる教育活動や各学年の学級経営を工夫し、学校が楽しいと思ってもらえる教育活動を目指してまいります。
- ⑦「学校の教育活動に満足している」は肯定的な回答は「そう思う」が+6.9%と増えました。コロナ禍ではありますが、本校の教育活動をできるだけ保護者の方にも見ていただけるように工夫したことに評価をいただいたことに感謝いたします。今後も開かれた学校を目指し、保護者の皆様に安心していただけるような学校づくりを目指します。



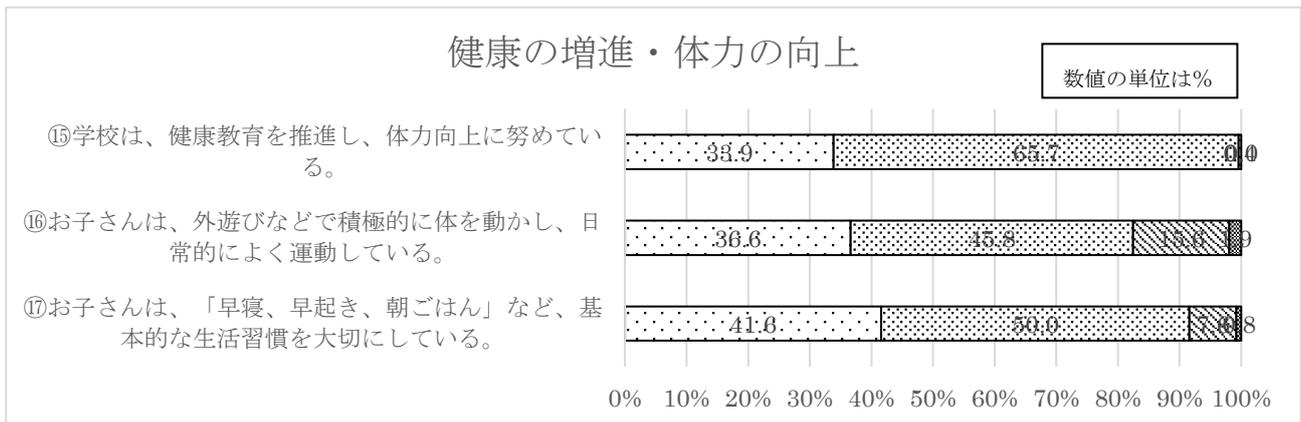
<確かな学力>

- ⑧「分かりやすい授業づくり」は昨年と同様に肯定的な回答が9割を超えており、「そう思う」は昨年を15%上回りました。教員の授業改善が一定の評価をいただきました。今後も、タブレット端末の活用、ICT機器の活用だけではなく、教員の指導方法の改善と工夫を行い、分かりやすい授業づくりに励んでまいります。
- ⑨「分かりやすい教え方」については肯定的な回答が約-6.5%となりました。教員は電子黒板や教師用パソコンの使い方も慣れ、自ら作った教材や学習コンテンツ等を活用し授業を行っています。今後は子どもへの問い方や意見の収集の仕方、まとめ方などを改善し、分かりやすさを追究してまいります。
- ⑩実際に子どもが勉強を理解しているかとの設問では、ほぼ昨年と同様の結果となりました。肯定的な回答で「そう思う」は昨年よりも5.8%上回りました。今後も授業改善や指導法の工夫を行い、確実に学習内容が身に付けられるよう努力してまいります。
- ⑪家庭学習については肯定的な回答が昨年よりも15.3%上回りましたが、「そう思う」は-13.3%とかなり下回り、「だいたいそう思う」の割合が増えました。宿題もタブレット端末で課題を出すことが多くなっています。肯定的な回答が増えたのも子どもが課題を確認しやすくなったことと同時に、ご家庭でのお声掛けがあったからだと思います。学校からの宿題だけではなく、子どもが考えた宿題、読書や日記など、毎日の家庭学習の習慣が身に付くよう、ご家庭でも工夫をしていただければ幸いです。



<心の充実>

- ⑫「いじめのない学校づくり」では肯定的な回答が84.2%と9割を下回りました。特に「そう思う」の回答が昨年よりも-7%下がりました。学校では今年度、いじめ防止対策基本方針を改訂し、いじめの見逃しを無くすよう、軽微なことでも報告し全教員で情報交換を行い、早期発見、早期対応に努めています。今後も、子供が安心して過ごせる学校を目指して子どもたちの小さな変化を見逃さず丁寧に取り組んでまいりたいと思います。
- ⑬あいさつができていていることについては、肯定的な回答が81.5%と8割を超えました。毎朝、あいさつ当番が門のところであいさつを実践しています。子どものアンケートでもあいさつをしていると回答した子どもが増えました。「あいさつが気持ちよくできる子ども」が中萩中小学校の伝統となるよう、これからもあいさつができる子どもを育ててまいります。
- ⑭適切な言葉遣いができていると肯定的な回答をくださった方が76.2%となり、昨年度よりも+4.2%増えました。ここ3年間で12.6%と少しずつではありますが、良い方向に向いています。言葉遣いは話し言葉だけではなく、手紙やSNSなど文字でも同じです。相手を思う気持ちを大切に、適切な言葉遣いができるようすべての教育活動を通じて意識させていきたいと思っています。



<健康の増進・体力の向上>

- ⑮本年度も昨年同様、マラソン大会、栄養士の食育講話や養護教諭の保健指導など健康教育を推進しました。肯定的な回答が99.6%と100%に近い結果となりました。運動面の体力向上だけではなく、規則正しい健康的な生活ができるよう、体育での運動量の確保や、保健指導の充実により自分の体に向き合えるようにします。
- ⑯日常的な運動については、肯定的な回答は昨年よりも5.4%上回りました。休み時間はマスク着用、遊具の規制もあり、身体的な距離をとったり、子ども同士があまり接触しないような遊びをしたりするなど様々に工夫が必要ですが、元気よく外で遊んでいます。休み時間には寒い日が続きますが、天気

が良い日は太陽の陽をしっかり浴びて健康な体づくりに励んでほしいと思います。

- ⑰「早寝、早起き、朝ごはん」は昨年とほぼ同様の結果となりました。ご家庭でも子どもの生活習慣について声を掛けてくださり、意識的に規則正しい生活を送ることができたことと思います。ご協力誠にありがとうございました。今後ともご家庭で「早寝、早起き、朝ごはん」を習慣付けていただければ幸いです。